

1. 概 要

令和元年8月豪雨の新たな課題に対処するために設立された「令和元年8月六角川水系の水害を踏まえた防災・減災対策協議会」のもと、六角川水緊急治水対策プロジェクトの各機関の取り組み状況の報告について、活発な意見交換がなされた。なお、本会議はコロナ禍の影響を考慮し、WEB会議形式での開催としました。

2. 実施状況

- 日時：令和2年6月11日（木）
- 会議方法：WEB会議
- 出席者：多久市、武雄市、小城市、大町町、
江北町、白石町、佐賀地方気象台、
佐賀県、武雄河川事務所
関係機関14名参加

3. 議事内容

- 1) 取組状況の報告について
- 2) 意見交換

▼WEB会議状況



4. 主な意見・コメント等

- 浸水状況を把握するシステムについては、令和元年8月豪雨の浸水被害の顕著な3地区（武雄市、多久市、大町町）で今年度に試行して、早期の構築を目指す。
- 治水効果を早期に発現するため、河道掘削や堆積土砂の撤去を実施中。
- SNSやメールにより情報発信できるシステムの構築。
- 自主防災組織連絡網へ災害情報等をプッシュ通知（電話）し、早期の避難活動へつなげる。
- 行政区毎の防災マップの作成。
- 救命ボート8艇を購入。
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保。
- その他
 - 「六角川治水対策プロジェクト」の実現に向けて連携していくことを確認。